

1 国語に関する調査

【特長】

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができている。日頃から発表活動を積極的に取り入れ、発表のためのメモ作りを丁寧に行ってきた成果と考えられる。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことがよくできている。

【課題】

- 文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題がある。文章の内容を理解したり表現したりするために、文の中での語句の役割や語句相互の関係に気を付けて、文の組み立てを読み取る学習に取り組みたい。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある新出漢字を使った短文作りを繰り返し行うことで、定着を図りたい。

2 算数に関する調査

【特長】

- 数量の関係を、□を用いた式に表すことがよくできている。問題文の中の数量の関係を線分図等を活用し丁寧に読み取り、式に表す指導を繰り返し行ってきた成果と考えられる。
- 授業の中で図形の要素である面と面、辺と辺等の位置関係を意識して見取り図をかき練習を行った結果、直方体の見取り図のかき方を理解し、正しくかきことがよくできている。

【課題】

- 球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がある。授業の中で体積を求めるために、どの要素の数値を使うかを確かめながら学習の積み重ねを図りたい。
- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。速さ、時間、道のりの関係について、基礎的な練習問題に取り組んでいきたい。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・「人の役に立つ人間になりたい。」と考えている児童が多い。異学年交流のなかよし活動等を通して、みんなのために活躍したいという思いを大切に、協力してよりよい活動ができるように自主性や自己有用感の育成を図っていききたい。
- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。」と回答する児童が多く、安心して学校生活を送ることができていると思われる。

【課題】

- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたい。」と考える児童が一定数いるが少ない。地域や社会を意識できるように、地域行事に進んで参加したり、自分から地域の方にあいさつをしたり、積極的な関わりができるようにしていきたい。
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。」と回答する児童が少ない。授業の中で話し合い活動をさらに充実したものになるよう工夫していく必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・各教科等において、タブレット端末等のICT機器を有効に活用し、自分の考えや感想を互いに伝え合う活動を取り入れることで、話す力、聞く力を身に付けさせたい。
- ・総合的な学習の時間等での地域学習や、社会教育と連携した郷土を愛する心情を育てる体験学習の充実を図る。
- ・道徳や学級活動の時間をはじめ様々な場面で、自分のよさに気付き、よりよい学校生活にしていこうとする気持ちや実践力を育てるとともに、いじめを許さない雰囲気づくりに努めていく。
- ・児童の心身の状態や学習状況の把握に努めるとともに、一人一人に寄り添った心のケアや学習支援、学習環境の充実等、きめ細かな支援を進めていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・朝食を毎日きちんと食べ、同じくらいの時間に起床する等の規則正しい生活リズムができていますので、引き続きご家庭でのご支援をよろしくお願いいたします。
- ・児童が読書に進んで取り組めるように、図書館に行く機会を設けたり、家庭で読書の時間を作ったりする等、読書への興味・関心を高めるような働きかけをお願いします。
- ・お子さんと一緒に、地域の行事やボランティア活動等に参加していただき、子どもたちが地域の一員としての意識をさらに高められるようにご協力をお願いします。